

【GBC】

財務会計 事前課題

世界に近づく6週間

仕訳とは？

仕訳とは



“

仕訳とは、簿記上のすべての取引を借方と貸方で分類して、それぞれ勘定科目と金額を仕訳帳に記載する簿記の作業のこと

”

勘定科目は資産や負債など5つのグループ*に分類され、グループごとに増減を「借方」「貸方」のどちらかに記入

*【5つのグループ】

・資産、負債、収益、費用、純資産

→全ての勘定科目は、この5つに分類される。




仕訳のルール

勘定科目は資産や負債など5つのグループ*に分類され、
グループごとに増減を「借方」「貸方」のどちらかに記入

借方（左側）

貸方（右側）



貸借対照表の科目
(BS: Balance Sheet)

- ・ 資産 
- ・ 負債 
- ・ 純資産 

-  ・ 資産
-  ・ 負債
-  ・ 純資産

損益計算書の科目
(PL: Profit & Loss statement)

- ・ 費用 
- ・ 収益 

-  ・ 費用
-  ・ 収益

仕訳の例

【問】 会社で使用するノートやペン、クリアファイルなどを合計10万円分、現金で購入した。仕訳をしてください。

借方		貸方	
消耗品費 (費用+)	10,000円	現金 (資産-)	10,000円

【解説】

- ①ノートやクリアファイルなど備品の勘定科目を決める→消耗品費(費用*)
- ②「現金で購入」とあるので、現金(資産)が減少
- ③消耗品費(費用)が増える場合は、借方(左側)へ。
- ④現金(資産)が減る場合は、貸方(右側)へ。

主要な勘定科目一覧

貸借対照表の科目 (BS: Balance Sheet)

資産

<流動資産>

- ・現金、預金
 - ・受取手形
 - ・売掛金
 - ・有価証券（短期運用目的）
 - ・棚卸資産
 - ・前渡金
 - ・前払費用
 - ・貸倒引当金
 - ・短期貸付金
- など

<固定資産>

- ・建物
- ・建設仮勘定
- ・機械や装置
- ・車両運搬具
- ・土地
- ・工具、器具、パソコン
- ・投資有価証券（提携や資産運用目的）など

負債

<流動負債>

- ・買掛金
 - ・支払手形
 - ・短期借入金
 - ・未払い金
 - ・未払い費用
 - ・前受け金
 - ・引当金
- など

<固定負債>

- ・社債
 - ・長期借入金
 - ・引当金（1年以上）
- など

負債

- ・資本金
- ・資本剰余金
- ・利益剰余金、など

損益計算書の科目 (PL: Profit & Loss statement)

費用

- ・給与手当
 - ・賞与
 - ・通信費
 - ・旅費交通費
 - ・接待費
 - ・広告宣伝費
 - ・研究開発費
 - ・減価償却費
 - ・雑費
 - ・支払利息、
- など

収益

- ・売上
- ・受取利息
- ・受取配当金
- ・雑収入

勘定科目の説明はこちらを参照

・ ビジドラ： [勘定科目とは？仕訳の分類について徹底解説！](#)

【事前課題】

仕訳の問題集 (合計30問)

仕訳をしてください。

記入した勘定科目の横の () 内に、資産・負債・純資産、売上・費用の分類、
そして増加”+”か減少”-”を記載してください。

【例題】 以下の取引の仕訳をしてください。

GBCプログラムへ8名参加が決まった。参加代金の30,000円を8名分、普通預金口座に振り込まれた。

借方		貸方	
普通預金（資産+）	240,000円	売上（売上+）	240,000円

解説

①借方：普通預金口座へ $30,000円 \times 8 = 240,000円$ が振り込まれ増加した。勘定科目の「普通預金」=分類は「資産」が増加。

②貸方：GBCの売上が $30,000円 \times 8 = 240,000円$ 計上されたため、勘定科目「売上」=分類は「売上」が増加。

【問1：売上】以下の取引の仕訳をしてください。

商品をA社に50,000円売り上げた。代金のうち、30,000円は現金で受け取り、
残りは掛けとした。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 売上
- ・ 現金
- ・ 売掛金
- ・ 買掛金
- ・ 備品

【問2：仕入1】以下の取引の仕訳をしてください。

B社より商品30,000円を仕入れ、代金のうち20,000円は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・仕入
- ・売掛金
- ・買掛金
- ・当座預金
- ・商品

【問3：仕入2】以下の取引の仕訳をしてください。

商品90,000円を掛けで、送料10,000円は当座預金から支払った。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 売掛金
- ・ 仕入
- ・ 立替金
- ・ 当座預金
- ・ 売掛金

【問4：売掛金1】以下の取引の仕訳をしてください。

得意先の掛代金20,000円について、送金小切手を受け取った。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 売掛金
- ・ 買掛金
- ・ 前受金

【問5：売掛金2】以下の取引の仕訳をしてください。

A社に対する掛代金100,000円の回収として、振込手数料500円を差し引かれた金額が、当座預金に振り込まれた。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 当座預金
- ・ 支払手数料
- ・ 貸付金
- ・ 売掛金

【問6：備品】以下の取引の仕訳をしてください。

会社で使用する備品100,000円分を、現金で支払った。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 備品
- ・ 現金
- ・ 当座預金
- ・ 売掛金

【問 7 : 現金過不足 1】以下の取引の仕訳をしてください。

期末に金庫を調べたところ、現金の実際の残高が500,000円であるのに対して、
帳簿上の残高が450,000円であった。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 現金過不足

【問 8 : 現金過不足 2】 以下の取引の仕訳をしてください。

問 4 の現金過不足50,000円が、パソコン（備品）の購入という事が判明した。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 現金過不足
- ・ 備品

【問 9：現金過不足 3】以下の取引の仕訳をしてください。

問 4 の現金過不足50,000円が、決算まで結局判明しなかったため、雑損に振り替える。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金過不足
- ・ 雑損

【問10：営業費】以下の取引の仕訳をしてください。

営業活動のため、使用している携帯電話の使用料10,000円と、インターネットの使用料5,000円が口座から引き落とされた。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 当座預金
- ・ 通信費
- ・ 現金
- ・ 営業費
- ・ 広告宣伝費

【問 1 1 : 付け替え】 以下の取引の仕訳をしてください。

現金20,000円を、当座預金に付け替え、その際、振込手数料が150円発生した。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 当座預金
- ・ 支払利息
- ・ 支払手数料

【問 1 2 : 貸付金】 以下の取引の仕訳をしてください。

A社に貸し付けていた100,000円が、利息200円を乗せて、
当座預金に振り込まれた。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 当座預金
- ・ 受取利息
- ・ 貸付金
- ・ 売掛金

【問 1 3 : 土地】 以下の取引の仕訳をしてください。

営業に使用する目的で、土地1,000,000円を購入し、仲介手数料1%と土地の整備料90,000円を含めた全額は、後日支払うことにした。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 売掛金
- ・ 土地
- ・ 立替金
- ・ 未払い金
- ・ 支払手数料

減価償却とは？

“

減価償却費とは、固定資産の取得にかかった費用の全額をその年の費用とせず、耐用年数に応じて配分しその期に相当する金額を費用に計上する時に使う勘定科目のこと。減価償却の対象となる固定資産を「減価償却資産」といいます。

”

何で必要なの？

設備や建物は、購入した年だけでなく、数カ月・数年単位で収益を生み出すため、「耐用年数」に応じて費用を計上します。収益と費用の発生タイミングを一致させ、その企業の手を正確に測るための会計ルールです。

減価償却方法は？

直接法

借方		貸方	
減価償却費 (費用+)	100,000円	機械設備 (資産-)	100,000円

減価償却費を、直接資産の価値から減らす方法。

間接法

借方		貸方	
減価償却費 (費用+)	100,000円	減価償却累計額 (資産-)	100,000円

減価償却費を、累計額として算出する方法。

定額法と定率法

- ・ **定額法**：毎年、一定額を減価償却費として計上していく方法。年ごとに、価値が減りにくい減価償却資産に適用する傾向がある。（例、車、建物、など）
- ・ **定率法**：毎年、償却残高の一定率を減価償却費として計上していく方法。時間が経過していくごとに、価値が大きく減っていく設備に適用する傾向がある。（例、液晶テレビの工場、パソコン、など）

【問 1 4 : 減価償却 1】以下の取引の仕訳をしてください。

×2年3月31日、決算につき、建物（取得日：×1年4月1日、取得原価：1,000,000円、耐用年数：10年、残存価額：ゼロ、定額法、間接法）の減価償却を行う。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 建物
- ・ 減価償却費
- ・ 減価償却累計額
- ・ 固定資産売却損

【問 1 5 : 減価償却 2】以下の取引の仕訳をしてください。

×2年3月31日、決算につき、パソコン（取得日：×1年4月1日、取得原価：200,000円、耐用年数：5年、残存価額：20,000円、定額法、間接法）の減価償却を行う。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 備品
- ・ 減価償却費
- ・ 減価償却累計額
- ・ 固定資産売却損

【問 1 6 : 減価償却 3】以下の取引の仕訳をしてください。

×2年3月31日、決算につき、車両（取得日：×1年10月1日、取得原価：2,00,000円、耐用年数：5年、残存価額：1,000,000円、定額法、間接法）の減価償却を行う。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 車両
- ・ 減価償却費
- ・ 減価償却累計額
- ・ 固定資産売却損

【問 1 7 : 建物】 以下の取引の仕訳をしてください。

建物の改修工事を行い、代金1,000,000円は翌月末に支払うこととした。このうち、700,000円は耐用年数を延長させる改良のための支出であり、残りは定期的修繕のための支出である。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 建物
- ・ 修繕費
- ・ 売掛金
- ・ 買掛金
- ・ 未払金

【問 1 8 : 前払金】 以下の取引の仕訳をしてください。

商品100,000円の注文を行い、その手付金として50,000円を現金で支払った

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・仕入
- ・前払金
- ・現金

【問 1 9 : 前払金 2】 以下の取引の仕訳をしてください。

問17の商品100,000円を受け取り、手付金50,000円を差し引いた残額を掛けとした。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・仕入
- ・前払金
- ・現金
- ・売掛金
- ・買掛金

【問20：旅費交通費】以下の取引の仕訳をしてください。

従業員に出張旅費の概算額として30,000円を現金で手渡した。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 仮払金
- ・ 現金
- ・ 前払金
- ・ 旅費交通費

【問 2 1 : 旅費交通費 2】以下の取引の仕訳をしてください。

従業員が出張から戻り、以下の旅費交通費精算書の提出を受け、残金は現金で受け取った。

【旅費交通費精算書の内容】

電車代2,000円、タクシー代5,000円、宿泊代13,000円

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 仮払金
- ・ 現金
- ・ 前払金
- ・ 旅費交通費

【問 2 2 : 給与】 以下の取引の仕訳をしてください。

給料日となり、給料総額300,000円のうち、源泉所得税30,000円、社会保険料10,000円を差し引き、当座預金口座から振り替えて支払った。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 当座預金
- ・ 給与
- ・ 所得税預り金
- ・ 社会保険料預り金

【問 2 3 : 貸倒引当金 1】以下の取引の仕訳をしてください。

決算となり、売掛金の残高に対して100,000円の貸倒引当金を設定する。なお、貸倒引当金の残高は80,000円であり、差額補充法によって処理する

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 貸倒引当金
- ・ 貸倒引当金繰入
- ・ 売掛金
- ・ 貸倒損失

【問 2 4 : 貸倒引当金 2】以下の取引の仕訳をしてください。

決算となり、売掛金の残高に対して100,000円の貸倒引当金を設定する。なお、貸倒引当金の残高は150,000円であり、差額補充法によって処理する。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 貸倒引当金
- ・ 貸倒引当金戻入
- ・ 売掛金
- ・ 貸倒損失

【問 2 5 : 貸倒引当金 3】以下の取引の仕訳をしてください。

得意先が倒産し、同社に対する売掛金（前期発生分）200,000円が貸倒れとなった。
なお、貸倒引当金の残高は150,000円であった。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 貸倒引当金
- ・ 貸倒引当金戻入
- ・ 売掛金
- ・ 貸倒損失

【問 2 6 : 資本金】 以下の取引の仕訳をしてください。

会社の設立に際して、株式10,000株を1株当たり ¥20 で発行し、全株式の払込みを受け、払込金を普通預金とした

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 普通預金
- ・ 資本金
- ・ 繰越利益剰余金

【問 2 7 : 繰越利益剰余金 1】以下の取引の仕訳をしてください。

当期純利益100,000円の振り替えを行う。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 普通預金
- ・ 資本金
- ・ 繰越利益剰余金

【問 2 8 : 繰越利益剰余金 2】以下の取引の仕訳をしてください。

株主総会において、繰越利益剰余金の配当および処分が次のとおり承認された。

株主配当金：50,000円 利益準備金の積み立て：20,000円

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 普通預金
- ・ 資本金
- ・ 繰越利益剰余金
- ・ 利益準備金
- ・ 未払配当金

【問 2 9 : 租税公課】 以下の取引の仕訳をしてください。

営業用の店舗の固定資産税10,000円と自動車税3,000円を現金で納付した

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 現金
- ・ 租税公課

【問30：有価証券】以下の取引の仕訳をしてください。

×1年12月10日に、売買目的で保有しているA社の社債（額面総額：¥ 1,000,000、帳簿価額：¥ 980,000、年利率：7.3%、利払日：9月末日と3月末日の年2回）を売却し、端数利息を含めた金額 ¥ 985,000 が普通預金口座に振り込まれた。

なお、端数利息は1年を365日として、前回の利払日の翌日から売却前日までの期間に相当する金額を日割りで計算すること。

借方		貸方	

いずれかの勘定科目を使用

- ・ 普通預金
- ・ 有価証券売却損
- ・ 有価証券利息
- ・ 売買目的有価証券